

わたしたちの身のまわりには、
どこいところにも
どのようは木が使われているのだから。

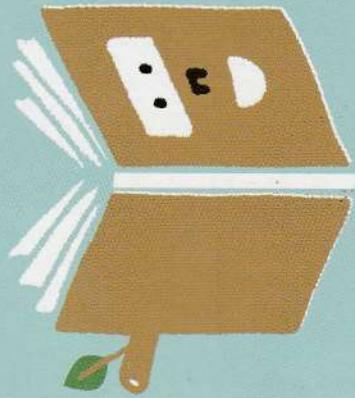
それはなぜ、
木でなければ
いけないのだから。

もしも、この世に
木がなくなったら…

わたしたちの暮らしは
どうなってしまふのだから。



勉強でできるのも木のお蔭。
どういふところかというところ……



言葉は木片や紙に書かれてきた。勉強するにも木が役立ってきたんだね。

みんなが使っている教科書やノートは、
木で作られているって知ってた？

つまり、**木材を原料にして**
紙がつくられているというわけだね。

また、習字に使う紙や障子に使われる紙は
麻やコウゾなどを原料に、漉いて作られてきた。

紙がまだなかったり、貴重品だった昔は、
ずばり、**木の板に文字を書いていた。**
これを「木簡」というんだ。

「木簡」は一度書いても、表面を削れば
何度でも書き直せた。便利だったんだね。

こちらは、昔から日本でつくられてきたので和紙と呼ぶよ。

針葉樹、広葉樹、どちらも紙の原料になるよ。また、紙用に植林されたユーカリやアカシアが使われることも多いんだ。

加工がしやすいから、細かいところまで廻り込んだり、だれでも廻りたいものを造れるんだ。

切る、削るができるって、
実はスゴイことなんだ。



だから人々は、暮らしに必要な道具や家を、木で作ってきたんだね。

みんなは鉛筆をナイフで
削ったこと、あるかな？

鉛筆けずり器を使って
削った経験なら、きこえるよね。

もしも鉛筆が木でなくて、
鉄などの金属でできていたら、
スイスイと削るのは、ちょっとむずかしい。

切ったり、削ったり、
彫り込んだり、形を整えたり……

木は身近な山にあって、
しかも加工がしやすい。

それから、あとからもっと使いやすく造り直したり、
修繕したりも、木なら簡単にできるよ。

へえ～、木ってそうなんだ！



もんだい.1

日本でいちばん高く成長する木は？

- ① クスノキ ② ケヤキ ③ スギ

もんだい.2

日本でいちばん大きな葉と花をつける木は？

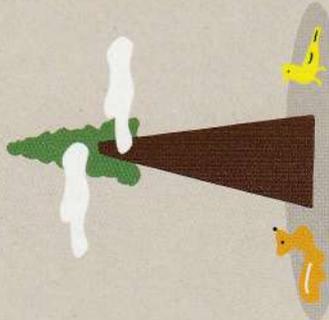
- ① ヤツデ ② ホオノキ ③ カシワ



もんだい.3

いちばん長生きする生き物は？

- ① 木 ② クジラ ③ カメ



もんだい.4

世界で最初の飛行機はなんでもできていた？

- ① 鉄 ② 紙 ③ 木



もんだい.5

針葉樹と広葉樹、どちらの成長が早い？

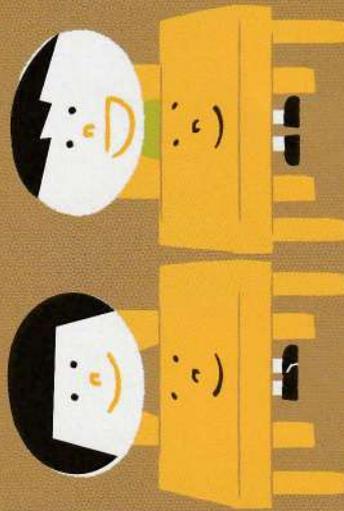
- ① 針葉樹 ② 広葉樹 ③ 差はない

※葉が針のように長くどがっている木を針葉樹 (マツやスギなど)、葉が平たく丸くなる木を広葉樹 (サクラ、ケヤキなど) と言います。



クイズの答えは10ページにあるよ。

木はからだにやさしい。
木はなんだが気持ちいい。



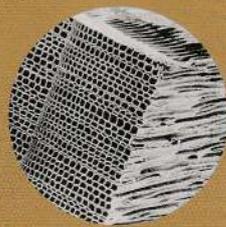
みんなが勉強に使ってる机や椅子は
木でできているかな？

金属にふれると冬は「冷たい！」と感じ、
夏の太陽の下では「熱い！」と感じる。
でも、木の机だとそうじゃない。
なぜだと思う？

木を電子顕微鏡で見ると
小さな細胞でできていることがわかる。
この細胞のマス目に空気がたまり、
熱を伝わりにくくしているんだ。

それだけじゃない。
細胞の空洞がスポンジみたいなクッションとなって
手足などのからだがつかつたときの衝撃を
やわらげてくれるんだ。

コンクリートや鉄、プラスチックと違って、
木に触れると、
なぜか気持ちいいって感じるよね。
からだがうれしいものは、気持ちもうれしがるんだね。

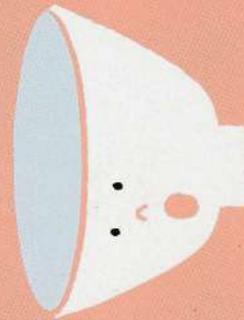
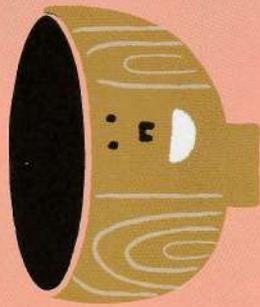


【木の細胞 電子顕微鏡写真(ヒノキ)】
電子顕微鏡で見ると木は無数の穴でできている。
このスキマ間に空気がたまり、これがクッションとなって
熱や衝撃を伝えにくくしているんだ。



富ち盛りの子どものそばには、木がたくさんあるといいんだね。

「お椀」と「お碗」のちがいを きみはわかるかな？



木目が美しい木のお椀。「美味しい」には、「美しい」もあるんだね。

木には殺菌作用がある。
お味噌汁のような汁物を入れたって、こぼれない。
日本人は木の性質を知りつくし、
それを暮らしの道具に生かしてきたんだね。

炊きあがったご飯を入れておく「お櫃」も
昔は木で作られていた。
それも、ご飯をおいしく保存する知恵だったんだ。

ご飯茶碗だって、むかしは
ほとんどが木をくりぬいてつくられていたんだよ。
木だと軽いの、熱いものを入れても持ちやすい。
木目が美しいというのもあるよね。

じつはね、木くんと石くんのちがいを
そうなんだ。木でつくられたものを「お碗」と書いて、
陶磁器でできたのを「お碗」と書くんだ。

【木のお椀を愛用してきた日本人】
欧米に比べて木のお椀が今も日本で多く使われているのは、
日本人は食器を手に持って食べるからといわれているよ。
手で持つには暖かいほうがいい。また、木の手触りや口当たりの良さなども、
日本人が木の器が好きなの理由だね。

台所で「かっやくする」 木の板、まな板。



トントントント……台所の音は、まな板の音。おいしいものができるよ。

木には細菌を殺したり、細菌が増えるのを防ぐ成分が含まれている。

なかでもヒノキやヒバなどに含まれる

「ヒノキチオール」はよく知られているんだ。

だから、食べ物をおつかう「まな板」には
ヒノキが使われることが多いんだね。

中華料理のように、大きな包丁で

力いっぱい、たたきつけるように使う場合には、
固いやまなどがまな板に使われる。

長く使い込んで包丁の切りあとが
チコボコしてきたら、カンナをかければ平らになるよ。
これも木のまな板のいいところなんだ。

【まな板の使い方】
木のまな板は、使用前に水でぬらすのが鉄則なんだ。
先に水分を含ませておくと、後からお肉、魚、野菜などを切っても、
その汁気や臭いがまな板には染みぬらんだ。
洗剤液で洗っても、先に水でしっかりぬらしておけば洗い流すよ。
液が染みこむことはないよ。
◎使い終わったら、水切りして、良く乾燥させよう。
とまどきはお日に干してあげるとも大事だよ!!

台所にも木でできたもの、たくさんあるよ。

いちばん見つけやすいのは、そう！「まな板」だね。

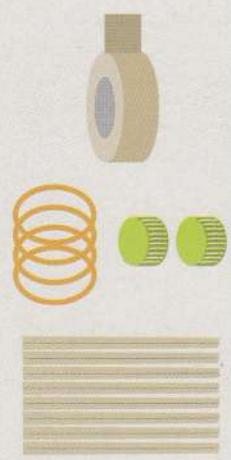
木は身近な友だち、木でつくってあそぼう！



の〜びたり、縮んだり…… 割り箸でできまるマジックハンド

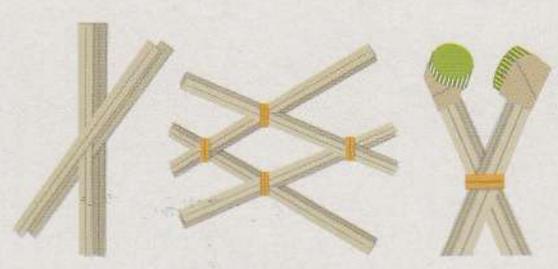
用意するもの

- 割り箸 8膳 (割らないで使うよ)
- 輪ゴム 4本
- ペットボトルのふた 2コ
- ガムテープ



作り方

- 1 割り箸4膳を重ね、真ん中を輪ゴムでとめるよ。
とめたら「互い違いに、右、左、右、左」と、
十字になるように広げるんだ。
- 2 同じものをもうひとつ、つくろう。
- 3 次はふたつを組み合わせて、輪ゴムでとめるよ。
互い違いに、すきまにはさんでとめるとうまくいくよ。
※試しに閉じたり開いたりしてみよう。
きつくて動かない場合は、輪ゴムのしめる回数を減らして、ゆるくしよう。
- 4 箸の先にペットボトルのふたを取り付けよう。
絵のように、ガムテープでしっかり取り付けよう。
できたら、完成だ!!

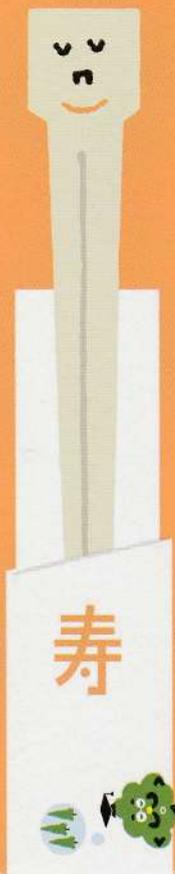


あそび方

ピンポン玉をつかんでみよう!!
これがあれば、遠くにあるものも持てるね。



便利なだけじゃなかった、 白木ででききた割り箸。



割り箸を使うときは、森の木と自然の大切さについても考えてみよう。

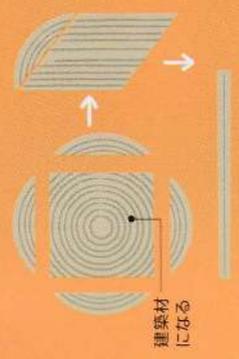
割り箸のほとんどは、家や樽などを造るときに
出てくる端材(余った木片)でつくられてきたんだ。
むかしから木材の有効利用だったんだね。

割り箸は使ったらすぐに捨てるから
「便利だけどもったいない」という意見があるよね。

あれには、新しい箸を「割ってつかう」ことで
「穢れ(汚れ)のない気持ちで、新しく始めます」
という意味がこめられているんだ。
だから何も塗っていない白木の割り箸が使われるんだ。

清けつで軽くて持ちやすい。
割り箸はホントに便利だね。

ところで、みんなは、
お正月のお膳や神事では、かならず、
割り箸が使われるのを知っているかな？



森を守るために、「端材や間伐材(*)から
つくられた割り箸を、もつとたくさん使おう」という
動きが、今また起きているんだよ。

*間伐(かんばつ)とは、森の木が成長してくると、
互いにぶつかり合っって大きく成長できなくなるため、
間伐(かんばつ)して本数を減らすこと。
この作業で伐(き)られた木を間伐材(かんばつざい)というんだ。

建築材として使えない部分を利用して、
割り箸をつくられてきたんだ。

燃える木と燃えない鉄。 どちらが良いのかというと……？



外側は燃え出しても中までなかなか燃えない！意外だったかな。



天然素材の木は、
燃えても**有毒ガスを出さない**から、
その点でも安心なんだよ。

現代の火事で人が亡くなる原因の多くは、
化学物質を使った建材や塗料が燃えるときに**出す**
有毒ガスによるものなんだ。

ところが木の柱や梁で
できた家は、万一火事になっても、
かなり長い時間燃え続けられない限り
焼き崩れないで建っている
ことができる。

鉄はなかなか燃えないよね。
でも鉄で組み立てた家は高温になると**曲がったり、**
崩れてしまうことがあるんだ。
そうなる中にいる人は逃げ出せなくなるね。

心持材でできた柱の強さはわかったね。
では、**火に対する強さ**はどうなんだろう？



外側は真っ黒に焦っても(写真右)、中は燃えていない(写真左)。柱のような木は、約420度で燃えだして、30分燃えても表面から18mm程度。燃えた層は炭となった内部へ熱を伝えにくくなるので、それ以上は燃えにくくなるんだ。木が燃えて元の強さの半分になるには20分かかるのに対し、鉄は約250度で変形を始め、強さは5分で半分になくなるんだよ。

※参考 / 木と日本の住まい(日本住宅・木材技術センター)

そのワケは……

木は衝撃に強い。 金づちが教えてくれる。



実は家の柱も心持材なんだよ。だから
押したり曲げたり引つ張ったりする力には強いんだ。
壊れさえしなければ、
鉄より木の柄の方が軽くて扱いやすくなる。
手に伝わる**衝撃**も少なくなるしね。

力を込めて打ち続けていれば
木でできた持ち手は折れてしまうのではと思うのだけど、
これが折れない。なぜなんだろう？

ひとつは**硬い性質の木**が使われていること。
もうひとつの理由は、
心持材(木の中心がある木＝丸太)が
使われているのも、
強い**秘密**なんだ。



〈柱には心材を含む心持材(C)が使われる〉

同じような理由から、鉄の道具に木の持ち手がついたものってたくさんあるよ。

ノミ ノコギリ カンナ 包丁
かま くわ シャベル つるはし ハンマー

たいていの金づちは、たたくところは**金属(鉄)**だけど、
手で持って振り下ろすところは**木**でできているよね。



へえ～、木ってそうなんだ！



もんだい6

柱1本にはどれぐらいの水分を含んでいる？
大きなビールびんで

- ① 1本分
- ② 2本分
- ③ 3本分



もんだい7

木、鉄、コンクリートの強さを、同じ重さで比較すると、どちらが強い？

引っ張る強さは

- ① 木が強い
- ② 鉄が強い

圧縮する強さは

- ① 木が強い
- ② コンクリートが強い

もんだい8

木とコンクリートの上に、同じ高さからボールを落とすと、どちらが高くははずむ？

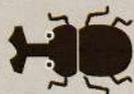
- ① 木
- ② コンクリート
- ③ 同じぐらい



もんだい9

建てられてから1,300年たった法隆寺のヒノキの柱と、新しい今年の新緑の柱では、どちらが強い？

- ① 法隆寺の柱
- ② 新しい柱
- ③ 同じぐらい



もんだい10

次のうち、森の豊かさを証明する生き物はどれ？

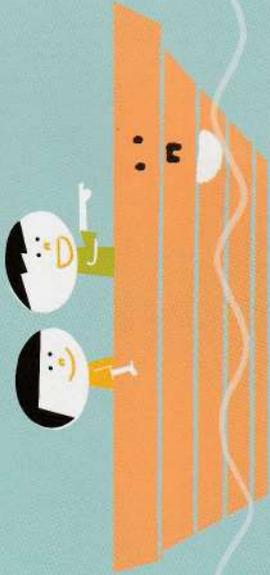
- ① カブトムシ
- ② フクロウ
- ③ ネズミ

※ヒント：森には、いろいろな「豊かさ」があるけれど、たくさ人の生き物が生きている、というのち豊かさを示すひとつの目安です。では、たくさ人の生き物が住んでいないと生きていけない生き物は？ どれがそれを食べて生きているのかを考えてね！



クイズの答えは10ページにあるよ。

舟やお風呂、樽、水車にも。木は水にも強かった。



木は水に弱くて腐りやすい？
みんなそう思っているんじゃないかな？

たしかに、木の樹皮に近いところ（辺材^{へんざい}）は、
でんぷん質や水分を多く含むため、腐りやすい。

でも、木の中心部（心材^{しんざい}）は、
でんぷん等の細胞中に含まれる物質が変化して
色つやがあり、丈夫で、水にぬれても腐りにくいんだ。

もうひとつのポイントは、良く乾燥させること。
乾燥させた木は
生の木にくらべて強さが増すんだよ。

実際に、舟やお風呂は松や檜で造られてきたし、
杉もけこう水に強くて、
醤油などを入れる樽は杉の木でつくられてきたんだ。

水車づくりでは、杉板の表面を少し焼くことで
さらに水に強くする工夫もしていたんだ。

【水に強い木の種類】

国産針葉樹……カラマツ、アカマツ、クロマツ、ヒノキ、ヒバ、スギなど
国産広葉樹……クリ、ケヤキ、カンナ

心材（赤身）、辺材（白太）の説明図は
5ページ（右）を見てね。

ぷ～んと木が香る。
においにも、すごい力があった！



生の木を折ったり、ノコギリで板を切ると
ぷ～んと、いい香りがするよね。

あの木の香りの成分を、
専門的にはフィトンチッドというのだけど、
イライラをおさえて、心と体を
リラックスさせる力があるんだよ。

最近ではこの成分をわざわざ取りだして
部屋の芳香剤や入浴剤にすることもあった。

それだけじゃない！木の香りには
ダニや悪い細菌が増えるのをおさえたり、
シロアリの寄せ付けられない力もあるんだよ。

化学製品が引き起こすアレルギーや
家ダニが原因でおこるアレルギーもある。
その点でも、木の香りがする家は安心だね。

柱や床、壁、天井も。木の香りが家族の健康を守ってくれるんだ。

【1,300年たっても香りがする！
建てられてから1,300年たった法隆寺の古い柱にカンナをかけたら、
木の香りがした。宮大工さんのそんな話が伝わっているよ。
木は製材されてからもみずみずしさや失わないんだね。

木の香りについては
3ページも見てね！

木は、湿気と害虫から
大切な衣類を守っている！



みんなは「桐ダンス」という言葉を
聞いたことがあるかな？

衣類をしまっておくダンスには
桐でつくられたものが特にいとされているんだ。

そのわけは、桐は部屋に湿気がこもってきたら
水分を吸いこみ、
逆に乾燥してきたら水分を吐きだす。
その能力がとてもしっかりしているからなんだ。

木が湿気を調節してくれることで、
衣類がかびてしまったり、
衣類を食い荒らす害虫の発生をおさえてくれるんだよ。

ダンスやクローゼット、押入だけではないよ。
天井や壁など、家のいたるところに
木がたくさん使われているのは、
カビや害虫の発生をおさえて、健康に暮らすためでもあるんだよ。

木は湿気まで調節してくれる。まさに暮らしの味方だね。

桐は国産材で重さが最も軽い木なんだ。
軽いいことは、それだけ細胞のマス目
(空洞)が多くて、湿気を吸いやすいという
ことだね。

【木の細胞 電子顕微鏡写真：スギ】
2ページでも紹介したね。
湿度の変化に合わせて、この細胞のマス目に湿気をためたり、
ためてあった湿気を吐き出したりしているんだよ。



どんな音が出るかな？……

世界でひとつだけのカスタネット

用意するもの

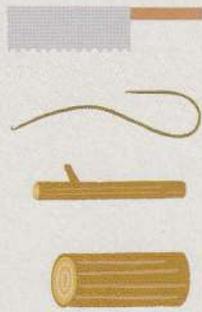
- 丸太 直径5~6cm(幹でも枝でもいいよ)
- 小枝 1片
- ゴムひも
- ノコギリ、キリ、彫刻刀

作り方

- ①丸太を1cm厚さぐらいに切って、輪切りをつくるよ。
- ②同じ輪切りをもうひとつ、つくろう。
- ③輪切りに、キリを使ってゴムひもを通す穴を2つあけよう。もうひとつの輪切りにも穴をあけよう。
- ④音がよく響くように、真ん中にくぼみを付けよう。彫刻刀を使って、少しずつ削っていきこう。もうひとつも同じようにくぼみを付けよう。
※このとき、ケガをしないようにじゅうぶん気をつけよう！
- ⑤たいたいときに音が出るように、小枝でつくった出っばりを付けるよ。(これは片方だけでいいんだ) 小枝の先を彫刻刀で丸く削ろう。もう片方は細めに削ろう。丸太に浅い穴をつくり、ここに出っばりの細い方を埋め込む。
※穴の大きさより差し込む先がほんの少し太いぐらいにつくり、ムリヤリ押し込む感じの方が、取れにくくなるよ。
- ⑥2つの輪切りにゴムひもを通して結んだら、完成だ!!

あそび方

さっそく演奏してみよう！ 美しい響きができるかな？



美しい音がする。
そこには木がある。



ピアノやオルガンは大部分が木でできている。
バイオリンやギター、木琴にも木が使われているよ。

楽器だけでなく、音楽室や劇場ホールの壁や天井にも、たくさんの木が使われているね。

これは、木が耳ざわりな音を吸収したり、
やわらかい響きにかえて、
耳に心地よい音にしてくれるからなんだ。

また、音を吸収するということは、
部屋の中の音を外に出さないで、
外の音の中に入れないことでもある。
木は音の環境をコントロールしてくれるんだ。

木の家も同じ。
テレビの音や、道路から入る車の音など、
いろんなうるさい音を静かにしたり、
やわらけてくれるよ。

そのわけは、やはり木が持っている細胞のマス目。たくさんの空洞が音のトゲトゲした振動を吸い取っているんだ。

風がサワサワと吹きわたり、小鳥のさえずりが美しく響いていく。森や林の心地よい静けさは、たくさんの木が耳ざわりな音を吸収しているからなんだよ。

耳にもやさしいから、木に囲まれた場所ではリラックスできるんだね。

伐ったら苗木を植えて育てる。 この繰り返しが森を元気にする。



育った木を利用するというのは
森を若返らせ、森を元気にすることでもある。
木を使うことは、大切な森を守るため
でもあるんだね。

たくさんの鳥や動物、植物、生き物を
育てているのも森の力だよ。

森は木を提供してくれるだけじゃない。
山くずれを防ぐ、気温を調節する、
水をキレイする、空気(酸素)をつくりだすなど、
大切な働きをいろいろしているんだ。

スギやヒノキの人工林では、この繰り返し
50年から80年で回っていくんだ。

木を植える、育てる、伐って利用する、
伐ったら苗木を植えて、また育てていく……。
木は**永久的に再生できる材料**なんだよ。

【日本の森が荒れていくのは……】
外国から輸入される木材が安いために、
日本の森の木はなかなか利用されない。
すると森の世話をする人がいなくなると、
森がどんどん荒れていくんだよ。

※下草刈り=木の苗が草の成長に負けないよう、
下草を刈ってあげること。植えてから4~5年間行うよ。
※枝打ち=森に光が入り、木が大きくなれるように
枝を落とすこと。
※間伐→説明は4ページを見てね!

このままでは日本の森は荒れてゆく。みんなで森を守ろう！

人はなぜヒノキ舞台に あここがれたか？



”ヒノキ舞台“って言葉があるように、
舞台の床は木、特にみんながあこがれるような大きな舞台は
ほとんどヒノキでできている。なぜなんだろう？

人が歩いたり、動きまわる時、脚の関節には
体重の2~3倍の力がかかると言われている。
床が硬すぎると、その衝撃がすべてはね返ってくるから、
脚が疲れ、関節をいためてしまうんだ。

舞台の床がヒノキなどの木でできているのは、
木が役者さんの脚にかかる**衝撃**を
ほどよく**吸収**してくれるからだったんだね。

家の床が木材というのは、歩きまわっても疲れにくい。
まさにヒノキ舞台に住んでいるのと同じなんだ！

疲れにくく、ケがましにくい。木の床の大切さ、わかってくれたかな？

【もし、床がコンクリートだったら……】
実は、床が柔らかすぎても、脚は疲れるんだ。
砂浜を走ると疲れやすいから、その感じわかるよね。
脚には木のような、ほどよい硬さがいんだね。

【もし、床がコンクリートだったら……】
街を長く歩き続けると脚が疲れるように、
クタクタになっちゃいます。また、転んでしまうと
ひざをすりむいたり、頭を強く打ってしまう。



もんだい1

こたえは (3) スギ です。

まっすぐ高く伸びる木だから「まっスグなキー スギ」というんだね。クスノキ 15～25m、ケヤキ 35m、スギは 50～60mにもなるんだよ。真っ直ぐで使いやすいから、昔からたくさん利用されてきたんだよ。

もんだい2

こたえは (2) ホオノキ です。

朴(ホオ)の木の大きな葉はさわやかな香りや殺菌力があり、「朴葉すし」や「朴葉味噌」などの料理に使われるんだ。花は直径20cm程になるよ。また、均一で細工しやすい材は、木版の版木や製図板、彫刻材などに利用されている。

もんだい3

こたえは (1) 木 です。

大きなシロナガスクジラの寿命はおよそ100年。長寿で知られるカメは長くても250年と言われているよ。ところが木はもつと長生きで、屋久島にあるヤクスギなんか2000～4000年以上生きています。

もんだい4

こたえは (3) 木 です。

今から110年ほど前。つくったのはライト兄弟だったね。それまで、軽くても強い素材で最も優れていたのは木だったからなんだ。機械という字がどちらにも木ヘンで、音の機械は木でつくられてきたんだよ。

もんだい5

こたえは (1) 針葉樹 です。

針葉樹は育つのが早く、だいたい50～80年ほどで建築材料として使われるようになるんだ。一方、ゆっくり育つ広葉樹は材質が硬いので、玄関や機械、家具、楽器などに使われるよ。

もんだい6

こたえは (3) 3本分 です。

良く乾燥した木は重さの12～15%の水分を含んでいるんだ。普通の柱でビル大びん3本分ぐらい。空気が乾燥するとこの水分を吐き出し、湿度が多くなるとこの量と同じぐらいの湿度を吸収して30%にまでなるんだよ。

もんだい7

こたえは どちらも (1) 木が強い です

同じ重さで比べると、スギ材は引張る強さで鉄の4倍、圧縮に対する強さはコンクリートの5倍強いんだ。(ただし、同じ大きさで比べると、鉄の方が木よりも強くなるけどね。) 木材は、軽さと強さをあわせ持つ材料なんだね。

もんだい8

こたえは (2) コンクリート です。

コンクリートに落とされたボールは良くはすむ。木ははずまない。はずまないというのは、受けた衝撃を吸収してくれることなんだ。木の上を歩く方が、コンクリートの上を歩くより疲れないのも、木が衝撃を吸収してくれるからなんだ。

もんだい9

こたえは (3) 同じぐらい です。

ヒノキは伐られてから200～300年まではだんだん硬さ、強さを増していくんだ。そこからたまたび元に戻っていき、1,300年あたりで新しい木と同じぐらいになるんだ。鉄は古くなるほど弱くなっていくけど、木はそうじゃないんだね。

もんだい10

こたえは (2) フクロウ です。

森には、花や樹液などに集まるたくさんの昆虫類がいて、その昆虫類を食べるリスやネズミ、シジュウカラなどがいて、さらにそれを食べるフクロウやクマなどの肉食動物がいるんだ。食べらる生き物は食べる生き物より数が多いから、だからフクロウが多い森にはもつとたくさんの生き物がいて森が豊かである、というワケ。

木にまつわる

漢字の成り立ちを、知ろう！



タテ真ん中の1本線は木の幹を、上の線は枝、下2本は根を表す。
「木」という字は、土に生える木の形からできたんだ。



一番上の線は、木の上の方にある枝の先(先端)を表す。
細い先っぽが木の末(すえ)になるから、「末」を意味するんだ。



木の上の細い枝が短くてまだ伸びきっていないことを表す。
末だ(まだ)伸びていないから、「末」を意味するよ。
「末」と「未」の上の線の長い短いには、意味があるんだね。



木の下は、ここが根本(ねもと)であるシルシ(線)の根本だから、「本」。大本(おおもと)の大事な部分であることを意味するよ。



木の向こうから、お「日」さまが昇ってくる。そちらの方向が「東」にあたるというわけだね。



木の上に実がなる。これが「果実」(かじつ=くだもの)の「果」の字になったよ。



木の上につくられるのは鳥などの「巢」。
「田」は巢の形を表し、その上にある3本の小さい線は、3羽のヒナ鳥を意味しているんだよ。



小さい鳥のスズメを「雀」と書くように、小さい鳥のことを昔は「雀」と書いていたんだ。小さい鳥(雀)は木の上にとくさん集まるから「集」としたんだね。



これは、人が木によりかかって休んでいる様子。昔から木は人の疲れた体をやさしく受け止めてくれたんだね。



机は木でできていたから「机」なんだね。
「札」「材」「杖」「杯」「柵」「柱」「機械」などのように、木でつくられてきたものは、たいてい「木ヘン」になっているよ。



木育しずおか

けん木ねん

静岡県木材協同組合連合会
静岡県木材青壮年団体連合会
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-252-3168 FAX.054-251-3483
e-mail:s-mokuren@s-mokuren.com
<http://www.s-mokuren.com>
※本資料の無断転載を禁じます。



「わたしたちと木の物語」はこれでおしまい。
まだまだ伝えたいことがいっぱいあるけれど、ページが足りなくなってしまったよ。
興味があったところ、気になったところがあるたら、図書館で調べてみるよ。
わからなところは、お父さんやお母さんに聞いたり、
下のホームページを見て勉強してね。

◎ 木net～木と森の情報館／（一財）日本木材総合情報センター
◎ 森と木のQ&A／（独法）森林総合研究所

※本パンフレットは環境負荷低減のために「古紙配合再生紙」を使用しています。